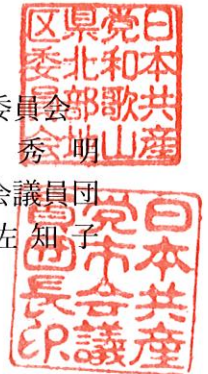


2020年8月27日

和歌山市長
尾花正啓様
和歌山市教育長
富松淳様
公営企業管理者
瀬崎典男様

日本共産党北部地区委員会
委員長 国重秀
日本共産党和歌山市会議員団
団長 森下佐知子



新型コロナウイルス感染症対策に関する緊急申し入れ書（第4次）

新型コロナウイルスの感染急拡大は、きわめて憂慮すべき事態となっており、和歌山市においてもほぼ毎日のように感染が確認されています。このまま感染拡大を許せば、高齢者への感染が広がり、重症者が一気に広がる状況にあります。

厚生労働省は、PCR検査について「地域における感染状況を踏まえた幅広い検査」を求めるなどの新しい方針を示しました。日本共産党北部地区委員会と日本共産党和歌山市会議員団は、市内の医療関係者等から現場の実態や切実な要求の聞き取りを行ってきました。感染拡大を食い止めるためには、PCR検査を大規模に実施し、感染力がある無症状者を見つけ出し、保護・隔離することが何よりも有効な手立てではないでしょうか。

市民の新型コロナウイルス感染拡大を食い止めるため、国・県の対策に加え、和歌山市独自の財源措置を含む対策を、よりいっそう行っていただくよう、下記のとおり申し入れます。

記

1. 大阪府など一部の都市部で急拡大した新型コロナ感染が、和歌山市内にも波及しています。感染急拡大地域の感染震源地（エピセンター）を明確にし、その地域の住民、事業所の在勤者の全体に対して、PCR等検査を実施するよう、国に緊急に申し入れていただきたい。
2. 集団感染のリスクが高い医療、介護などに勤務する職員に対し、定期的にPCR検査を公費で行っていただきたい。
3. 市内感染の拡大を防ぐため、PCR検査結果が出るまでの間、隔離場所を市として確保していただきたい。

4. この秋のインフルエンザ・風邪等の流行期にそなえ、発熱患者対応のために、保健所や基幹病院を中心に発熱者外来の拡充をしていただきたい。同時に、市民に対して発熱者外来が明確にわかるように広報していただきたい。
5. インフルエンザの流行を抑制するため、インフルエンザワクチンを昨年以上に確保し、高齢者の方は無料にするなど、市として接種料金の補助を行っていただきたい。
6. 新型コロナウイルス感染症の治療や検査にあたる市内の協力医療機関に対して協力金を拠出していただきたい。また、一般診療の縮小などによる減収にも対応していただきたい。
7. 新型コロナウイルス感染症対策において、市が担うべき医療体制の方針化を急がれたい。また、方針化する際には、医療現場の声や意見を聞くシステムを講じられたい。
8. 医療機関、介護施設、福祉施設、保育園、幼稚園、こども園、児童養護施設における感染拡大防止に必要な衛生材料等消耗品を安定確保できるよう、市として全力をあげられたい。
9. 新型コロナウイルス感染症に係る介護事業所の減収や感染防止対策に係る費用は、利用者へ負担を押し付けるのではなく、すべて公費で補填するよう国に要望していただきたい。
10. 国の持続化給付金制度、和歌山県の事業継続推進事業の補助金に当てはまらない事業者に行っている、市独自の「事業者家賃支援金事業」の支援金（最大20万円）の上限額と期間を拡大するなど、さらなる財政的支援を行っていただきたい。
11. 水道料金について一定期間の免除を行っていただきたい。
12. 学校現場におけるコロナ下での子どものケアと学び、身体的距離の確保、教職員の異常な長時間労働改善のため、小中学校の学級編成基準を見直し、1クラス20人以下とするよう国に強く求めていただきたい。同時に、市として、施設改修等を含む教育予算の大幅増額を行っていただきたい。

以上